

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

## 議会広報広聴調査会記録

平成 26 年 5 月 29 日 (木)

9 : 57 ~ 11 : 25

議会第 1 委員会室

【出席者】 田畑委員長、笹田副委員長  
 足立委員、柳楽委員、森谷委員、野藤委員、  
 布施委員、岡本委員、澁谷委員 牛尾昭委員

【事務局】 小川次長、田中書記

### 議 題

#### 1. 議会報告会の反省

- ・ 要望・提言については、委員長、副委員長で市長提言と議会对応に分類
- ・ 各班から提出された報告書をHPに掲載（住所、氏名は削除）
- ・ 12月頃から来年度の議会報告会の検討をする。
- ・ 委員から出た意見を今後の検討材料とする

#### 2. 行政視察の報告について

- ・ 視察方報告書の提出
- ・ ケーブルテレビの充実を図る（市民が視聴しやすいように）
- ・ 石見ケーブルテレビと協議（田畑委員長に一任）

#### 3. その他

次回委員会の予定 平成26年6月13日(金) 一般質問終了後  
 議会だより34号について

## 【議事の経過】

[ 9時 57分 開議 ]

田畑委員長

定刻より若干早いですが委員の皆さんお揃いですので、議会広報広聴調査会を開催したいと思います。お手元の資料に基づいて進めていきたいと思ひます。

### 1. 議会報告会の反省

お手元の資料をめぐっていただき、26年度議会報告会という資料をご覧ください。日にち別、公民館別、担当班、議長団、参加者、内訳、というふうに記載してあります。ご覧になっていただき、もう1つ別紙、報告会に関する報告書が、各公民館別にホチキス止めした資料があるかと思ひます。それぞれ議員の皆さんが報告会に行かれて、反省点・改良点等があれば、また事務局の方にお伝えいただきたいと思ひます。

それとこの報告書については、26年度議会報告会におけるの要望・提言等、区分として1から13までの分類で記載してあります。この部分については、我々が取りまとめて議長に報告して、議長から市長へ要望・提言する部分と、議会対応出来る部分とで分別して、後ほど委員の皆さんにご提示したいと思ひます。市長に対する要望・提言と、議会では対応すべき部分については、議長に対して文書で提出することになってありますので、これについては私と副議長にお任せいただきたいと思ひますが、よろしいでしょうか。

( 「はい」という声あり )

それと、ちょっと元に帰りますが、この報告書については、石見・三隅・金城の公民館は、発言者の住所と氏名が入っております。ホームページに掲載する際には住所氏名は削除して、あとはこのままを掲載したいと思ひております。よろしいでしょうか。

( 「はい」という声あり )

それと、今日言ってすぐというわけにはいかないと思ひますが、いずれにしても議会報告会は年1回以上となっております。次回というと、年1回やっておりますので、来年の5月頃になろうかと思ひますが、次回にどのような、班編成も含めて委員の皆さん方の意見をおうかがいしたいと思ひてあります。

今回の議会報告会で、議員定数も減りましたということで、市内10ヶ所

で実施する規定にしており、班によっては4人ないし5人編成で報告会をしました。それについて、班編成、開催時間、場所、含めて、総体的に反省すべき点があれば、言っていただきたいと思います。ある人は挙手でお願いします。布施委員。

布施委員

布施班で2ヶ所やらせていただきました。参加人数は人数だけじゃなく内容だと思いますので、時間帯も良いと思いますが、進め方において。折角4、5名で行っているのに、司会者と報告者が中心になって、他のメンバーが発言する機会が、挨拶くらいしか無かったということで。振れば良いのですが、答えられるだろうかという疑問点もあって、司会者や報告者がその会議を進めてしまった経緯が結構ありました。議会としての参加です。参加している方に積極的にテーマを挙げて欲しいのですが、発言の機会を分配して設けるべきだということを申し上げたいと思います。

澁谷副議長

報告者を経験豊かな方が担当されたので、感じとしては今の布施委員が言われたように、報告者は新任の方でも出来るかなと。でも答弁は経験の多いの方が詳しいので、その辺の役割分担は新人の方にも発言の機会を与えるような配慮は要ると思いました。あと、市の行政の方が来られて市民の声を聞いていただくのは大変良いことだと思うのですが、会場によっては市民の方が数名の所もあったので、市民の方にも10人程度は来ていただけるような配慮が必要かと。

田畑委員長  
野藤委員

その他。野藤委員。

私は平石班で長浜と金城に行きました。長浜は非常に多いという前評判で行きましたが実際行くと多くなかったということもあって。先程言われたように、議会全体としての報告会ということなのでなかなか個人的なことは言えない部分もあるかなと。全体の流れの中で、例えば、議員としてものを述べるのはまずいんじゃないかなと思って、あまり言わなかったのですが、ただちょっと教育のことで言われたり、人権のことを言われたので、ちょっと言ったような気もします。なかなかああいった場では言えないですね。全体の流れの中で、そういった部分を作ってもらえば思ったりもしたのですが、ただ、議会報告会と銘打ってあると、なかなか言えないです。

笹田委員  
野藤委員  
牛尾昭委員  
野藤委員

言えないというのは個人的な意見ということですか。

議会全体としてのものなので、断れば良いのかもしれないのですが。

まだ1回しか体験してないから。何回かこなせば分かるよそれは。

なかなかああいう場でものを言われる人というのは、結構、極端とってはいけないが、きつい意見が多い。その分はある程度、さっぴいて聞か

なければいけないかなとは思いますが、それが全てだと思えば、全体像を見誤るかなど。

澁谷副議長  
布施委員

待ち構えている方もいらっしゃいますね。

委員長もう1つ良いですか。やはり女性の参加率がどの会場も少ない。行政の方を除いて。女性の参加率を上げる何らかの策を講じる必要があるのではないかと思いました。

岡本委員

意見というか反省をさせていただきます。正直このたびは少ないというイメージを持ちました。これは事務局を責めるわけではありませんが、結果的には責めますが、那賀郡については放送やら行政無線で連絡は取れているのですが、旧浜田市にとっては回覧板で回すというところが実は回ってなかったというところから、結局、議員が自分の支持者もしくは知人に対してチラシを配布して声をかけたから、議会だよりの後ろに案内を載せてますが、なかなかそれが皆さんには伝わってない。ということは読んでもらってないのかなど。やはり折角色んな費用を使ってやるわけですから、浜田自治区については、周知させる、来てもらうという行為についてやはり、もっともっと努力する必要があるだろう。それは改善していかないと、女性が少ないとか以前の問題だと思ってますので。次回の議会報告会のご案内については配慮していただきたい。そういうイメージを持ちました。

田畑委員長  
足立委員

その他。どうぞ。

初めて議員として参加させていただいて、まず率直に感じたのは、先程言われたように、参加者が非常に少ないというところです。それから運営自体は、私は布施班だったのですが非常に配慮いただいて、ある意味気楽に、発言も対してなかったのも私は客観的に物事を見ることが出来たので、1回目としては大変ありがたかったと。それと色んな質問に対して、仮に自分に振られた時に、議員として発言するのか個人的感想として発言するのか、議会として発言するのかというところが、非常に難しいなと感じていて。多分私に振られても答弁出来なかつたらうなと正直思いました。その辺は先輩議員さんがいらしたので、非常に私はありがたかったのですが。運営自体は問題は無いだろうと思うのですが、先程言われたように、女性も少ないですが、あと30代・40代の男性もほとんどお見かけしなかつたような気がします。そういった方が参加してくれて、そういった方の意見を聞きたいというのが、率直な思いでした。

岡本委員

もう1つ良いですか。今、足立委員が言われた中で、こういうことも言っておいた方が良いかなと思ったのですが。実は自分の担当以外のところも少し応援という形で聞きに行かせてもらった中で、市民の人が色んな質

問をされます。かなり専門的な質問もあったと私は感じました。そういうものはやはり蓄積して、議会報告会に行く前に内輪で少し勉強会をする。例えば、自治区制度ということの質問があれば、自治区制度というのは前回こういう質問があったよということを踏まえた勉強会をしていかないといけないでしょう。水道の問題が出たりしましたし、それなら水道の問題はどういう形で討議されて、どういう結果が今進めてあるとか。そういうものは議会報告会の前に、班で勉強するようなところを作っていくと、足立委員が言われたように、話を振られて答えられるかなと。我々でも専門外はなかなか答えられないところもあるわけで。共通認識を深めるためにも、班ごとに勉強会をして、やるということは大事かなと。そうすると、例えば専門分野のご質問があった時に、勉強した内容をお示しして理解を求めたり、また新たな意見をもらったりということが可能だと思います。是非とも、今回はその辺を考慮していただけたらと思いました。

田畑委員長

今回の報告会については、班編成が4人ないし5人ということでした。私の班も4人でしたが、司会しながら、報告者、記録の人、会場の人となると、なかなか記録しながら、所管の委員会だからと回答を求められても、書くのに一生懸命だから聞く方に集中出来ないこともあろうかと思えます。それでは4人という班編成が良いかどうかということも含めて。議員数が減った分だけ、市内10ヶ所で1人2回ずつとなると。この委員会で班編成についても皆さんと協議しながら班編成したのだけれど、では次回の時に、4人ないし5人で良いのかどうかということも含めて、もうちょっとゆとりのあるような報告会を、我々議員側がゆとりがあるような報告会の在り方にすべきだろうという気がしたのだけれど、他の委員の皆さん方がそんなことないよと言われるならそれでも良いのだけれど。市民の方から質問が来る、産業建設の問題だから貴方という場合、会場でマイクを持って回っておられると、なかなかそうはいかず、聞き辛い、理解出来にくい部分というのがあったような気がします。

それから、全員発言する機会というのはもちろんないといけないのだけれど、先程言いましたように、記録係、会場係、役割分担を各班で決めていますので、それぞれの所管委員会のことについてはその人が答えるのが本来の姿なのだろうけど、なかなかゆとりが無い分だけ、上手くいかなかった部分があるのが一番大きな反省だろうと。それは各班ごとに対応していただくようにしようと思ったら、4人ないし5人の班編成が良いかどうかということも含めて、今回の一番大きな反省材料ではないかなというふうに、私は感じています。牛尾昭委員、どうですか。

牛尾昭委員

去年までは6人から7人でやっていて、これはやはり京丹後がモデルというか、ある程度フルメンバーに近いところでやるというのが。今委員長さんが言われるように、漏れの無い答えが出来るというのが利点だと思います。一方、布施委員が言ったように、小人数で分けて行くと、とてもじゃないけどこんな問題答えられないということが刺激になって、本人が更に学習するという意味では刺激になるだろうと。一般論から言えば、1期の方がマイクを持って答えるという所までなかなかいかないと思います。だから、先輩が答えるのを見ながら、やがて自分が報告者になった時にこう答えるべきだということを訓練する時期が、1期前半の2年くらいかなと思っています。僕はこれでも良いし、どちらもメリット・デメリットあるので、ずっと同じスタイルではなく、今年はこうしよう、来年はちょっと変えようということがあって良いと思うし。

それと、アンケートを見るとやっぱり、議会報告会については議会だよりが一番情報としては多いと書いてありますよね。浜田の傍聴者が少ないという認識が間違いで、そこそこ多い。多い方だ。所沢みたいに、別段来ようが来まいが気にしないのだ、報告会をやるのがベストなんだという考えもこの間聞きましたが。色んな所を視察して歩いても、浜田は割に動員が多い方ですよ。だから月曜から金曜までやるのはどうか、例えば日曜の午前中と午後とに分けて10ヶ所一度にやるとか、そういうことをまだやったことないので、次やる時は今までやったことないようなパターンでやっていくというのは。議会報告会をやるということは定番化しているけど、やり方についてはこれというスタイルが無いので、色々やり方を変えると、数が増えるのではないかなという感じがします。

田畑委員長

その他に。報告会についての反省ということで、委員の皆さんから発言していただきましたが、これを整理整頓しながら、調査会で随時発言していただいて、それで来る来年の議会報告会に対して、先程言われました曜日の問題、班編成の問題も含めて、総体的に検討すべき部分があるかと思っています。今日の委員の皆さん方の意見を文章化して、近い内に委員の皆さんへ配布して、再度意見を言っていたきたいと思っています。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

言い忘れていました。去年は議員定数の問題と、ライディングパークもあったかな、いわゆる市民に直結したテーマがあったので、動員がかかったと思います。それに比べるとそんなに減っていないので、多いとは思わないけど、そういう意味では評価しても良い数字ではないかと僕は思うんですけど。以上です。

布施委員

火葬場でしたよね。

牛尾昭委員  
岡本委員

うん、去年は身近なテーマがあったよね。

実はこの報告会に入る前に、2つほどお話をさせてもらいました。1つはこの前に視察に行った時の、広報車を使って云々という話。それからパワーポイントの話です。実数的に、視察に行った先でもそうですが、パワーポイントは使っているようなお話ですから、やはり次はパワーポイントでやるという方向性を出すとか。広報車を走らせてやるとか。それは市のもので使うと難しいわけなので。たまたまこれは西村議員と話したのですが、西村議員は自分の車にスピーカーを載せてやっている。ではそれを貸してくださいねということも可能なわけで。そういうものをもう今からやる方向で、少し検討してほしい。

それから女性の参加という件ですが、是非とも来て欲しいということであるならば、やはり女性が意見として出せるようなものを1つテーマを作っていく。例えば保育園の問題があったり色んなことを、少子化の問題でも良いです。そういう、女性に来ていただけるようなテーマをまず設定するとか。

それと報告書にもありますが、我々は今、常任委員会のことを報告していますが、旭からは、特別委員会の報告もしていただきたいという話もありました。そういうこともやっていくべきではないかと思いました。

野藤委員

今の話に関連して。テーマなんですけど、市全体的なテーマと、視察に行った時に良いなと思ったのが、地域性のあるテーマ。例えば長浜なら長浜のまちづくりとか。この辺の一番の関心ごとをテーマに掲げると、参加があるのではないかと。それから女性の参加については、時間設定が悪いのではないかと思います。7時というと女性が出るのは難しいのではないかと思います。高齢の方なんかは夜は出にくいというのもあって。曜日や時間の設定を考えるべきではないかと。

岡本委員

班編成をした時に、この班はどこどこ行く、例えば旭に行きました、旭ではあの辺の質問というのは実は出やすい環境でした。あそこではだいたいこういうテーマが出やすいというのを控えておいてから行く。

布施委員

ただ、今言ったように地域性に合った話題を、議会として何でも良いから意見交換しましょうという座談会なら良いですが、やはり報告会と銘打っている以上は、議会としての報告事項であって、その後に地域性が出たとしても、執行権が無いですから。内輪の話ならいくらでも出来ますが、その意見に対して「やってくれるのか」と言われた時に、聞いて帰りましょうだけだったら、やはり意見交換会の名目にしかなりませんから。地域性に合った話を吸い上げるだけの項目になりますので、だから議会報告会

という名前が良いのか、2回目の時にもありましたよね、議会報告会という名前が固いから参加しにくいという意見が。そういう名前を座談会とか、形を変えながらやれば出やすいという意味合いもあるのではないかと思います。もし地域性でやるのであれば、岡本委員も言いましたが、事前にある程度執行部に（聞いて）勉強すべきことがたくさんあると思います。終われば次は来年だから、それまでは反省として今は出ますが、その間の準備も非常に大事だと私は思います。去年も終わった後に報告書を出して、議会だよりを出して、それで終わりましたよね。後は、今年も議会報告会あるのかなという時期になって慌ててやるような状態ですので。やはり全議員が間の準備をすべきではないかと思いました。

笹田副委員長

色々意見をいただきました。女性の話が出ましたが、今PTAの活動をしていますが、やはり女性でお子さんを持っておられると、なかなかこういう会合に出にくいだろうし、土日等にすると、議会にあまり興味を持っていないのにそういう時間に出向いて話を聞くという行為すら思いつかないというか。なかなかこちらに引っ張ってくる材料が難しいというのが現状だと思います。基本的に女性を引っ張るという考えはとても良いと思いますが、議会に対して興味を持ってもらうというのが一番大切なことだと思っています。日曜に変えたからどうなるのか、可能性としてはゼロではないので、そういう試行もあると思いますが、やはり興味を持っていただけないということをすごく思います。子どもたちに関するPTA活動ですら、日曜にやったとしても、友だちと遊びに行くから出ないとか、そういう保護者も年々増えている中で、相当厳しい問題ではないかなというのは、話を聞いていて思います。ただ、やり方次第では1人2人でも増える方法はあるのではないかと、話を聞いていて思いました。また次回、女性の参加を増やすということについて、色んな話合いをして考えていきたいです。

もう1点、今回の議会報告会で気になったのが、ある報告会の中で、議員の電話が鳴って報告中に抜けた例がありまして。それはちょっと、モラルというか、言語道断だなと。来ていただいているにも関わらず、電話を放置しておいて鳴ったから外に出て話すという行為は、議会として認識を疑われる行為ではないかと思いました。

牛尾昭委員

そういうことがあったのですか。

笹田副委員長

はい。

布施委員

班長が注意しなかったのですか。

笹田副委員長

その時は。そういうことがありましたので、そういった意味でも、来て



いただいているという認識が少ないと、電話に出るような議員がいればもう行かないと言う人が出てくる可能性もありますので、もう1回議員として議会として、話し合いをすることも必要ではないかと。普通はあり得ないと思ったのですが。

田畑委員長

女性に来ていただくということも含めて、班編成の問題と開催時間、曜日設定については、またこの委員会で。色々意見がありましたが、多くの人に来ていただくためには、そういったことも我々は考えていかなければならない。特に開催時間と曜日の問題については、また協議していきたいと思えます。

それから岡本委員が言われたのが、広報車を使つての広報活動。それから資料ももちろん配布しながらパワーポイントでやるという手法も、取り入れていった方が良いのかなど。今年の場合はちょっと時間が無かったように思いますので、来年度においては広報車とパワーポイントを頭に置きながら、考えたい。それから委員の皆さんのご意見をうかがいながらやっていきたいと思っています。

1部が議会報告会で、第2部が住民の皆さん方と語る会と言いますか、意見交換会という形で、綺麗に1部2部に分けてやった方が良いのではなかったかな、というふうに自分自身感じたのですが、委員の皆さんはそういう考えは無かったですか。特に、重要案件の問題からなし崩しに時間が来て終わったという感じも、旭ではありました。1部は終わった、それから引き継いで第2部として、出席されている市民の皆さんとの意見交換会という形で、2つのテーマというか、議会報告会と意見交換会、2つに分けていったらどうかなという気がしました。またこの手法についても委員の皆さんと協議したいと思っていますので、忌憚りの無い意見を発言していただきたいと思えます。

牛尾昭委員

委員長、大事なことを漏らしていました。周布で、周布の公民館長さんが「これくらい的人数が良いな、じっくり話ができるから」と言われたのを急に思い出しました。委員長が言われるように、例えば1部は議会報告会、2部が意見交換会というような名称で、衣替えをしても良いのではないかと。先程、議会報告会という名称が固いという話がありましたが、でも名称を変更するには、基本条例に謳ってあるので、議会改革の検討委員会の中で一応その旨を整理してもらわないと議論出来ないで、そういうことを一度委員長から議会改革へ戻してもらって、例えばここでまとめれば。名称変更も含めて。もっと柔らかい名前が良いと思われれば。名前を変えて報告会をやっても悪いことは悪いのだろうけど。一応元はやはり書

き変えておかないといけないのではないかと思うので。大事なことなので。まとまれば、また言ってください。

田畑委員長

京丹後辺りは最初から、議会報告会という名前でありながら、看板は市民と語る会とかいうふうに。条例まで変えずにそのようにやっておられるのではないかと感じた部分もあります。このやり方については、また委員の皆さんと。どうしたら気軽に、どういう形でやったら気軽に発言していただけるかと。忌憚りの無い意見を言ってもらえるかということで、やっていきたいと思っています。今日出た意見については、文書化して委員の皆さんにお渡しして、また、今日漏れていた分については発言していただければ、すぐ足して、最終的には今年の年末ぐらいには。来年5月ぐらいに、いずれにしても実施しなければなりません。どういう手法で、どうやって市民の皆さんに伝えていくか、そして、報告会の在り方そのもの、班編成、開催時間、曜日等の問題については、また別途協議していきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。よろしいですか。

岡本委員

ちょっと良いですか。今、委員長が言ったことは理解していますが、要は、12月頃に検討に入るということでよろしいですか。

田畑委員長

はい。文書化したものも残りますので、そう時間のかかる難しい話ではないと思います。

岡本委員

明記してもらって、その時期になったら広報広聴で、議会だよりに追われることなく、それはそれとして別に、議会報告会の在り方というのをこれから検討に入ると、色々意見も出ましたので、是非ともそういうことを記述して配布していただきますようお願ひします。また、実行していただきますようお願ひします。

足立委員

議題の1つに挙げずに。

布施委員

常任委員会ね。

田畑委員長

特に班編成の問題、開催時間、曜日。特に問題、土日には今までしたことがありませんので、したらどうだろうかということも含めて、検討しておいていただきたいと思います。

皆さんのお手元にA3の紙があらうかと思っています。「再生、議会報告会」という資料をお渡ししています。議会として議員として、色んなことが書いてありますので、よく読んでいただき、参考にさせていただきたいと思っています。これについては資料配布に留めておきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

## 2. 行政視察の報告について

この件については、兼ねてからご説明しておりました報告をしていただきたいと思います。

笹田副委員長

議員広報広聴委員会の視察の報告書がまとめてありますので、これで提出して報告に代えようと思うのですが、実際今回、議会広報広聴で視察に行き、これを一般質問等々にするという部類ではなくて、議会で変えられる内容もあると思いますので、この中で、今後浜田市議会でも可能ではないかと、勉強になった分はチャレンジしてみる価値があるのではないかとというような事案を、ここでちょっとこの報告書を読んで思い出していただきながら、出してもらって、今後の議会報告会の検討と一緒に、広報広聴の在り方についても一緒に議論出来たらと思っています。視察の中で感じたことでも良いですし、言っていただければと思います。4月中旬だったので、約1ヶ月以上経っていてなかなか。これは良いなと思う部分もあったと思いますが、もう1度この報告書を見ていただいて、意見をいただけたらと思います。

調査項目は4点ありまして、議会報告会の手法、スマホ採決、議員が発信するケーブルテレビ、議会報告会について、この4つ視察してまいりました。議会報告会については先程出ていると思いますので。広報広聴ですが、タブレットの導入等は特別委員会と被る事案でもありますが構いませんので、出していただければと思います。

澁谷副議長

議員が発信するケーブルテレビについてということで、議員自らそういう動きがあって、先進的な取り組みだと感じましたが、私はまだここまで行くまでに、今ケーブルテレビが折角、一般質問と予算委員会を放送してもらっていますが、もっと分かりやすくするような交渉と言いますか、そういうことは十分可能ではないかなと。どこを窓口にしてやっていくかというのが、議会側もケーブルテレビ側と、例えばその日の一般質問でいくと、その日の質問者はどなたが、最初出てくるのだけど、途中見たら次誰かも分からないし、次の一般質問者はどなたが出るとか名前が出たりとか。予算委員会等でも、もっと市民との距離を近づけていくような手法はいくらでもあると思うので。出来ればこの広報広聴委員会で、ケーブルテレビの担当者呼んで、またそういう打合せをさせてもらったりということは、ケーブルテレビの改革としてこの方向に行けば理想ですけど、段階としてはもっとあるのではないかと感じました。

笹田副委員長

タブレットの導入については特別委員会でも議論されているようです。使い方によるのですが。ここは採決のみで使われているので、どうなのかなと思いました。

牛尾昭委員

がっかりした。

布施委員

えらい安い費用だなと思ったら、採決のみだったから。

牛尾昭委員

やってないよりは良い。

笹田副委員長

美都でもペーパーレスでタブレットを使ってやっているということで、議会改革でも色々先進事例を探してやられていますので。それについてはそちらにお任せする形も出来るかなと思います。

今、この4点だったので、議会報告会というのは先程言ったので無しにしたとしたら、ケーブルテレビ、先程副議長が言われましたが、1点に絞って今後広報広聴でやるという形も可能ではないかと思いますが。皆さん放送を見られて、こうしたら良いああしたら良いという思いとか、見やすさについては皆さんだいが思っておられることがあると思いますので、そういった内容を広報広聴でまとめて、来てもらえるかどうかは別としてケーブルテレビの担当者に相談という形で、もっとこういう形で市民との距離を近づけるような放送内容に出来ないだろうかという交渉が出来ると思うのですが、それは事務局はどうですか。

牛尾昭委員

今、総務課がやっているのですよね。

田中書記

そうですね。契約がうちではないので、その辺がちょっと、聞いてみないと分かりませんが。

牛尾昭委員

両方話をしてもらって、可能かどうか確認してもらうのが最初ではないかな。

笹田副委員長

そうですね。ではとりあえずは、こうした方が良いという案をここで出さないといけませんね。

田中書記

そうですね。出来るかどうかというのもまたそれで、検討していかないと駄目かなと思いますが。

澁谷副議長

そういう考え方が筋が通っていると思いますが、ある程度意見を言わないと。以前予算委員会が真夜中に放送されていたのです、始めの頃は。朝の3時、4時なんて誰が見るのかと。そういうことが日中になってきているということがあるのですが。浜田市はケーブルテレビに遠慮するのだけど、色々補助金出したり、協力を一杯しているので、株主でもあるし、ある程度無理なお願いはともかく、良くなるためにテロップ入れてもらったりとか何とか、いくらでも出来るのではないかなという気がしますけどね。

笹田副委員長

いわみケーブルテレビと三隅では、放送の仕方も違いますし、ちゃんと見やすいように書かれて放送されていますし。会社が違うから何とも言えないのですが、そういった交渉も出来れば、皆さんが見られるような形になるのだろうし。例えば、先程副議長が言われたように、予算委員会なん

か番号で質問しても、見ている人は何を質問しているかも分からないし。何を答弁しているか分からないので、意味があるのだろうかと思う時もあります。

布施委員

あれ言われたね。

笹田副委員長

そういった意味で、見にくいというのは皆感じている部分があると思います。そういった意味では、広報広聴の部分で言うことも可能ではないかなと思うのですが。

岡本委員

広報広聴の中でケーブルテレビの扱いについて意見を持っていくということであれば、私も実は前から話しているように何点かあります。まず、個人一般質問でもそうですが、江津はライブ、浜田は夕方からやるという形です。結局自分の部分を録画しようと思っても録れない。ではどうするかと言えば、この前森谷委員がちらっと言ってましたが、カメラでそれを撮って、その分に関して自分の分は撮ったと。ああそういうやり方なのかと思いました。だから本来はあの中は分割して、誰が何を言わんとするかというのが見えるような形、だからその日に放送しなくてはいけないことは絶対必要無いと思っています。要は三隅流に、誰が何を質問するかということが、テロップなりで表示されて分かるようにしておいて、それをその時間だけを自分が録画すれば良いという形になるようにすべきだろうなと。それと、だらだらやっている、今の予算委員会もそうですが、なかなか市民の人らが、私らが見ていても何のことか確認をしながら、いやもうこれ以上もういいやとほとんど切ってしまうのが現実だろうと思います。その辺の工夫はすべきだろうと。だから予算委員会の進め方も、先般変えましたが、皆さんに分かりやすいということが絶対的に必要だろうと。見てもらえるということを含めて。

牛尾昭委員

ほとんどは予算絡みのことだと思います。最初は一般質問だけやって、予算を流してくれとお願いする時に、流しっぱなしの方が安くあがるとかいう流れで来ているのです。総務と抱き合わせでやっているから、どうもこちらが言ってもなかなか伝わらないので、1回総務課とケーブルテレビを呼んでもらって、今のような意見を直接ぶつけないと、ワンクッション置いて伝わるから本意が伝わってないのだと思います、ケーブルテレビの方に。当然予算が絡むのだけど。そこまでやればいくらかかりますということも含めて、1回ざっくばらんに話し合いをした方が良いかもしれない。ここでいくら言っても相手にきちんと伝わらなければ不完全燃焼なので。1回来てもらって、お互いに話をするという。議会はこう思っていると。向こうはそれは銭出せばするよと。例えばそうなのか。副議長が言ったよ

うに、お世話になっているからそこまで面倒見ましょうかというのが本当なのか。生の意見が伝わってないと思います。前、ケーブルテレビさんの何とか委員会というのがあって、副市長が出ていたのですが。副市長にその辺の問題を皆言いなさいとやっていたことがあったのですが。委員長にその辺を1回まとめてもらって、向こうの責任者と意見交換会を、常任委員会なのでからするというふうに設定してもらってくださいよ。そうしないと、ここでいくら言っても結果は出ないのかと言っても辛い部分があるので。お願いします。

岡本委員

浜田市のケーブルテレビから来られるのは3人か4人体制ですよ。常設したカメラをセットして、事務局が若干操作するという他市の放送も見させてもらいましたが、そういうこともやはり、来ていただいて話して、浜田市が予算付けして、人件費的なものは他の方で使ってもらって。テロップ等に配慮してもらおうとか。そういうことも求めていきませんか。そうしないと、このままずるずるやっても意味無いと言われかねないので。関係者と総務部と併せてお話をさせてもらう。

牛尾昭委員  
布施委員

常務か部長ぐらいに来てもらって、話をした方が。

基本的なことを聞くのですが、民法でその番組を放送した時に、視聴率がありますよね。ケーブルテレビも普及率から見る番組の視聴率というのは、ケーブルテレビではデータを取ってないのですか。

牛尾昭委員  
布施委員

いつか質問した時に、取ってないと。

取ってないのですか。取れないものですか。

牛尾昭委員

本会議で質問したことあるけど。

田中書記

取れないとおっしゃった。

布施委員

それなら、普及率を上げるしかないのですね。

野藤委員

視聴率も、モニターがあって、そのモニターが何を見たかの話であって、全部が分かるわけではありませんからね。

布施委員

ということは、視聴率は別に考えず、1回流していると。ということは、こちらの言い分も、見やすいように提案するわけだから、聞いてもらえる可能性も、今牛尾昭委員が言われたように、予算が合えば出来る可能性はあるということですよ。

野藤委員

私が聞いたのは、議会の本会議に持ち込むのはアナログ機材なのだそう。今は全部デジタルなわけで。デジタルを持ってくると他の取材が困るので、固定でずっと流すならアナログ機材でということ。それをデジタルに変えると、コストもかかるだろうと思うのですが、多分その辺の絡みだと思うのですけどね。

牛尾昭委員 カメラが足りないということですか。

野藤委員 足りないのだそうです。私が思うのは、データ放送で何か出来ないかと。直接言ってみないと。

牛尾昭委員 直接答えが出来る方を呼んできて話を付けると。

田畑委員長 この件につきましては、三方と話をします。  
( 「はい」という声あり )

笹田副委員長 やはり何もなければいけないので、ケーブルテレビに来てもらって。皆さん意見を考えてもらっていると思いますので。来てもらっても意見が出なければ意味無いので。

田畑委員長 よろしいですか。  
( 「はい」という声あり )  
では、次の議題にうつります。

### 3. その他

冒頭からお願いしておりました、議会報告会が終わりました。その会場で、冒頭、提言要望等が196件ぐらいありました。それぞれの会場において委員の皆さんが直接聞かれた言葉を、是非一般質問に反映していただきたいと思います。議会報告会をやったけど、6月定例会を見たら私らの言ったことが全然発言してないではないかということの無いように。それを議会の一般質問の場で発言していただきたいと思っております。一般質問の締切も近づいています。どうか広報広聴委員の皆さんには、是非質問していただきたいと思います。

岡本委員 ちょっと確認ですが、今皆さんにいただいた意見やアンケート等、一旦皆さんにお返しする方法について、再度確認したいと思います。どのような形で考えていますか。要は、ホームページで出すとか。

田畑委員長 先程も言いましたように、ホームページへ出します。

笹田副委員長 今から、執行部と議会とに分けるのですが、議会の方は我々が答えられますが、市の方は議長が市へ提言されます。ある程度回答が返った時に、回答についてホームページへ載せるという形で。答えられる部分とそうでない部分が一杯あると思いますので。

岡本委員 議会だよりの分は。あったでしょう。  
( 「結構あります」という声あり )  
そのことについては、同レベルで考えるのですか。

笹田副委員長 そうですね。同じ時に出せたらと思います。

田畑委員長 話がちょっと途切れますが、議会だより34号が発行予定で、これで説明

する中で、今回それぞれの会場で出てきた意見を集約して、去年の8月1日号か、6月議会が終わって発行する、これを見ていただきたいのですが、こういった形で。ここまで詳しくは書きませんが、2ページを使って議会報告会で拾った主な意見を掲載したいと思っています。

笹田副委員長

議会側の質問で答える部分というのは、飽くまでも議会の意見になりますので、我々と議長で、1つしか答えが無いわけで。こういう答えで良いだろうかというのを出して、議長名で掲載しようということです。議会としては答えは1つしか無いので、答えられるものは答えられると思います。

岡本委員

概ねそういう答えをホームページ等に載せるという作業を終えるのは、だいたいどれくらいですか。

笹田副委員長

帰ってからですね。執行部がどれくらいかかるか分かりませんが。

岡本委員

予測が良いのですが。

笹田副委員長

前も遅かったですよね。去年が。

田中書記

去年は、執行部からの返事はいただいてなかったのですけどね。

牛尾昭委員

執行部は、聞き置くというだけだったような。

田中書記

だったと思います。

岡本委員

私の感覚なのですが、誰が言ったかの把握していますが、その人たちには早く返してあげたい気がするのです。浜田の人は少し強調して言われたところがありましたので、そこにはちゃんと返してあげないと、何もやってくれないではないかという話になるし。報告会のこの書類を見て、すぐ一般質問に反映出来るかというのと、ちょっと時間がないなど。それに代わるものとしては、報告書が出来たら、来ていただいた方に対して、今こういうふうに考えていますよと。そういうわけで、期間的なものはある程度お示しなり、目標なりしておいてもらえば、そういう意見が出た時にお話できるかなと。

笹田副委員長

市長部局と議会と、簡単に分けられますので。分けて議長から総務へ持っていった時に、総務でどれくらいかかるかということ聞いて。そうでないとなかなか難しいと思います。

岡本委員

例えばアバウトな感じで、3ヶ月ぐらいとか。

笹田副委員長

そのくらいあれば出てくると思いたいですけどね。

岡本委員

ということは9月議会。

笹田副委員長

前々回の時にすごく遅れたのは、やはり答えにくい質問が結構あったのです。その中で、この返答待ってくれ、あの返答待ってくれという形で遅くなったので。ぱっと答えられる問題だったら良いでしょうけど。その辺も副議長を含めて、どこまで執行部に答弁を求めるか。



岡本委員  
田畑委員長

一応そういう気持ちがあるということだけでは、言っておいてください。  
それでは、資料をご覧ください。

( 以下、議会だより34号発行に関する今後の予定について説明 )

話が元へ返るかもしれませんが、報告会の意見・要望等がありまして、特に私の班で参加した周布公民館、日脚町192-11はdocomoが不感地域だがどのように対応するのか、という意見がありました。調べましたら、docomoは入らないがauは入るのだと。大手3キャリアのうちどれかが通話出来れば不感地域ではないという判断をしているようで、従ってこの発言者はdocomoを持っておられるが、auは入るそうなのでauに変えてくださいということ、言えないけれどそうなっていますということだけは、周布公民館へ行って私から館長さんへお話しておきました。

牛尾昭委員  
岡本委員

あの場に岡本委員さんいらっしゃったので振ろうかと思っていた。

振られそうだったので下を向いておきましたが、委員長がおっしゃるとおりです。

田畑委員長

広報情報課で聞いたら、浜田市の場合は、1キャリアでも入れば不感地域ではないという認識でありますので、docomoだけ鉄塔設置補助をするわけにはまいりませんと。答えを返してあげなければいけない分については、早く返してあげるようにしていただきたいと思いますので、よろしく願います。

岡本委員

先程議会だより34号についてお話がありました。これは確認と言うか、皆さんの周知の意見を聞きたいと思うのですが、先般ある議員の一般質問記事が間に合わなかったという話は皆さんご存知の通りですが、このたびはどうするのか。それを決めておいていただきたい。先般においては、一般質問をしても載ってない、削除してしまうという話に対して、結論が出ていないと認識しています。よろしく願います。

田畑委員長

4月25日の全員協議会で、議会報告会に関するということで全議員に集まっていたいて、議会報告会についてのお願いをしました。そして最後に、議会だよりを発行するにあたって提出期限を守らない人がいる、そのことについては、広報広聴委員会に一任していただきたいということをお話しております。この委員会で、5時を2分過ぎたから駄目だったというのではなく、1日も2日も3日も遅れるような方がおられた時にどう対応するか、ということになるのですが。私自身は、出さなかった人についてはもう、掲載する必要は全く無いと思いますし、その人をどうするか、僕は、嫌みと言いますか、提出期限が守られなかったので掲載出来ませんということまで書いてやっても良いのではないかというぐらいのことも考えまし

た。しかし議会だよりを発行するにあたっては浜田市議会全体の問題として、間に合わない人については、削除して、他の記事を載せるというような形にしなければいけないかと、僕個人は思いますが。このことについて委員の皆さんの意見をおうかがいしたいと思います。順番に。

足立委員

これは個人的にということですか。

田畑委員長

飽くまでも議会だよりを発行するというのは、浜田市議会の議長が発行するという、市議会としての顔、面子というのも踏まえながら、個人の意見でも。

足立委員

議会だよりは市民の皆さんが読まれるものですが、その皆さんの付託を受けてあの場に立ち、一般質問をさせていただいておりますので、ここで決めたルール、提出期限を守らない方については、当然未掲載で、尚且つ先程委員長が言われたように、提出期限に提出されなかったので空白ですという部分までやっても良いと私は思います。そのことについて判断されるのは、飽くまでも市民の皆さんかなと私は思います。そこを別の記事に載せ替えるようなことは、敢えてしない方が良いのではなかろうかと思えます。

田畑委員長

空白で出すと。

足立委員

はい。

田畑委員長

布施委員。

布施委員

これは岡本委員が前に言われたように、一般質問プラス議会だよりの原稿については1つなんだという考えのもとに、質問した以上は出すべきであって、その提出期限を守らない者については載せるべきではないと。その表示の仕方というのは、提出期限を守らなかったので載せませんではなく、広報広聴委員会としての規定に反したという感じで、ルールがあって議会だよりを構成しているのだということを市民の方に知っていただいて、それを、先程足立委員が言われたように、飽くまでも市民が最終的には判断すれば良いことと思います。ですから、ありのままを載せる。やはり1回告知しているわけですから。告知した以上はルールが出来たわけですから、それをまた守らないということになると、そのことをきちんと明確にして、空白かどうかは分かりませんが、そういうことを明記してやるべきだというふうに思います。

野藤委員

前回の時にも同じような話になって、前回は初回、初犯と言ってはいけません、最初だったので、次回からはという念押しを多分しているはずなので。もしこのたびの6月でも出なければ、写真で埋めるとか、文言を入れて。議会だよりということなので、晒し者的なことはしない方が良い。

載せないのは載せないで良いですが、写真や文章で埋めるという対応でお願いしたいです。

田畑委員長

岡本委員。

岡本委員

私は、委員長から掲載をしないというような注意を伝えていただいて、それを覚悟の上であれば掲載しないという形で良いのではなかろうかと思っています。でも配置してしまうと難しいのか。

笹田副委員長

それは、ずらせば出来ると思います。

田中書記

ずらせば。

岡本委員

今の、野藤委員と同じように、何らかの形でイラストもしくは写真等を載せるということ。

布施委員

枠があって、そこをイラストか写真で埋めるということですか。1人分を。

野藤委員

ずらして行って、一番最後を埋めたら…。

布施委員

それこそ何か、議会だよりにお金かかっているのに勿体ない。

牛尾昭委員

それは最後にしよう。ひととおり皆に聞いてみることにしようよ。

田畑委員長

副議長。

澁谷副議長

私は、議会運営というのは基本的に会派を拘らず、情がなければならぬと考えております。しかしながら、問題になっている議員に対しては、前例も今回2度目でありますし、今回の議会報告会で約束していた報告書も提出されなかったということを聞いております。その分を他の議員さんが作成されたと聞いております。十分もう、その配慮は過ぎていると考えますので、出なかったら載せなくて良いと思います。ただ今後、他の皆さんは同一にすべきではないのではと。議会で質問したけどその方が急遽入院されて間に合わなかったというようなことがあれば、配慮することは十分すべきだと思いますが、今回の件については、以後全く配慮する必要は無いのではないかと思います。名前を載せて個人攻撃するまでは、名誉とか品格を欠如することになると思いますので、詰めて段を組み替えて、いくらでも出来ると思います。

田畑委員長

森谷委員。

森谷委員

原則ありのままという方針を貫くべきだと思います。議会もそうですので。議会だよりとして、議会としての体裁を繕うという意見が出ていましたが、それが隠ぺいとかの原因になるスタート地点だと思います。入院されたのだったら、入院したから白紙なのだと。遅れたのなら遅れたから白紙なのだと。これで良いと思います。白紙について絵で埋めるとか、他の情報で埋めるとかは、また別の問題として検討すべきだと思います。私だ

って確認もされないのに公表された部分もありますので。それに比べれば、締切に遅れて白紙というのはダメージとしては屁みたいなものではないかと思えます。バランスを取るべきだと思います。

田畑委員長  
柳楽委員

柳楽委員。

締切過ぎてしまったら掲載しないというのはそのまま良いと思えますが、空白でそのスペースを使ってしまうのは勿体ないのではないかと思います。他の市民に伝えてあげたいことを載せる方が良いのではないかと思います。

田畑委員長  
牛尾昭委員

牛尾昭委員。

一般質問した方の原稿を議会だよりに載せるというのは当たり前のことで。それを守らないというか、議会のルールを守れないということがあれば、1回来てもらって、岡野議員に。何故そういうことをするのか、質問を含めて問いただして。常任委員会化したわけですから、岡野君にそういうことを申し上げるのも含めて、正すべきではないですかね。本来は出すのが当たり前。何故そういうことをするのかということ、岡野君がいない所で議論するよりも、本人を呼んで、どうしてそうなのだということを確認してやるべきではないかと。本人が出てこないなら別ですけど、そうすべきだと思います。出さないから載せないのだということではなく。24分の1で、彼が失敗すれば浜田市議会も同じというふうに見られるわけですから。議会全体の連帯責任があるわけですから、議会は合議体ですから。市長の場合はオンリーワンですからそういうことはありませんが。1度来てもらって、そこで確認をすべきではないですか。その上で判断するべきではないかと僕は思います。

田畑委員長

色々な意見をいただきましたが、いずれにしても、6月定例会が近々開催されます。6月24日には一般質問の（原稿が）締切。岡野議員も多分一般質問されると思いますが、1回は来ていただいて考え方等を説明して、それでも尚且つ本人が出さなかった時には、またどうするかということについて。当たり前のことが当たり前に出来ない方がおられると、1つのルールを作って提出期限を定めているにも関わらず、守れない人がいることによってまた1つ余分な行程の作業という。非常に情けない話ではあるのですが、いずれにしても議会だよりを発行する委員会ではありますので、何とか良い形に持っていきたいと思えますが、もし出さなかった場合においては、日にちもそうありませんので、最終結論を見て、どのような形にするか。委員の皆さんの意見を集約して方向性を見出していきたいと思っています。13日の委員会ではある程度、方向性を決めなければならないと

思っていますので、色んな意見を集約して、その日には結論を出したいと思っておりますので、よろしくお願ひします。森谷委員。

森谷委員

本人の意見は既に聞かれていますのでしょうか。どうして遅れたのか。

田畑委員長

どうして遅れたのかは、私は聞いてないです。会派で、何月何日何時が締切ですから必ず間に合わせるようにと。これがだいたい、一般質問の締切が議会の最終日になっています。

森谷委員

委員長が聞かれていないにしても、どなたかは聞かれていますのでしょうか。会派の中で。

岡本委員

申し訳ありません、会派でも聞いていません。

森谷委員

僕はそこが問題だと思います。もう1ヶ月も経っているのに、本人から事情も聞いてない。

田畑委員長

1回、早く出せと言った時に、忙しくてと答えられ、それは理由にならないと言ったことがあります。

話は変わるが、議会報告会の報告書を誰が出した、これ。

野藤委員

私が書きました。

布施委員

報告者は岡野君でしょう。

野藤委員

報告者ではないですよ。記録者で、名前は空白にしています。

田畑委員長

いずれにしても、色んな問題を含めて答えを出さねばならないと思っています。13日には答え出したいと思っています。

森谷委員

全てのことについてそうなのですが、本人が弁明する機会というものがあるべきです。本人が弁明する機会があるにも関わらず、それをしないで話が先に進むというのは、やるべきことではないと思います。

田畑委員長

それは今度、私の方から本人へ、議会報告会における報告書の問題、それから前回の一般質問の問題について、広報広聴委員長として本人に、何故遅れたのかということ質して、それでまたこの場で委員の皆さんに報告して、結論をそれまでにしたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

柳楽委員

すみませんちょっと良いですか。例えば13日が締切となっていて、この日に提出されなかった場合に…。

田畑委員長

13日は委員会やってレイアウトを皆さんに…。

柳楽委員

すみません、24日です。例えばその後に、24日に締め切られて編集作業を27日でされるではないですか。事務局さんは1日遅れるくらいのことは大丈夫なのですか。

田畑委員長

データで来れば良いのでしょうが。データで来ればと言っても事務局は大変ではありますよ。

柳楽委員	思ったのですが、前回も本人さんには他の議員さんから、提出してくれと何度も言っていたで、尚且つなかなか出てこなかったという経緯があるので、今回はもう前もって、この日に提出をされなかったら載せないよと、お話をされた方が良いのではないのでしょうか。
布施委員	委員長よろしいですか。柳楽委員さんが言われるのはごもっともだと思います。一般質問した人は会派の人に、創風会なら岡本議員に原稿依頼をお願いします、提出期限はそうですよと、提出期限を明示するわけです。知らないわけではないのです。ですから今言われたように、知っておられるわけですから、期限があるのですから、遅れた理由というのは、今言うように色んな不都合があるかもしれませんが、やはり期限は期限としてこれを変えるべきではない。1日2日遅れたからどうのこうのではなく、飽くまでも守っていただくということを強く、これがもう最低限だということをやってもらわないと。1分2分は良しとしても、翌日とか、許容範囲を広げるべきではないと思います。
田畑委員長	基本はね。1分2分のことは言わないけども。
牛尾昭委員	委員長は今回聞き取りをされるのでしょうか。常任委員長として。
田畑委員長	話をします。
牛尾昭委員	それをまとめ。落とすのはいつでも出来るから。
田畑委員長	やりましょう。とりあえず岡野議員のことは私が話をします。その他、委員の皆さんからありますか。 ( 「ありません」という声あり )
田畑委員長	それでは、広報広聴委員会を終わります。ご苦労さまでした。

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 田畑 敬二

[ 11 時 25分 閉議 ]